国立国会図書館　タイトル『酒飯論』　請求記号 本別7-565

三冬

酒飯論

僧詞

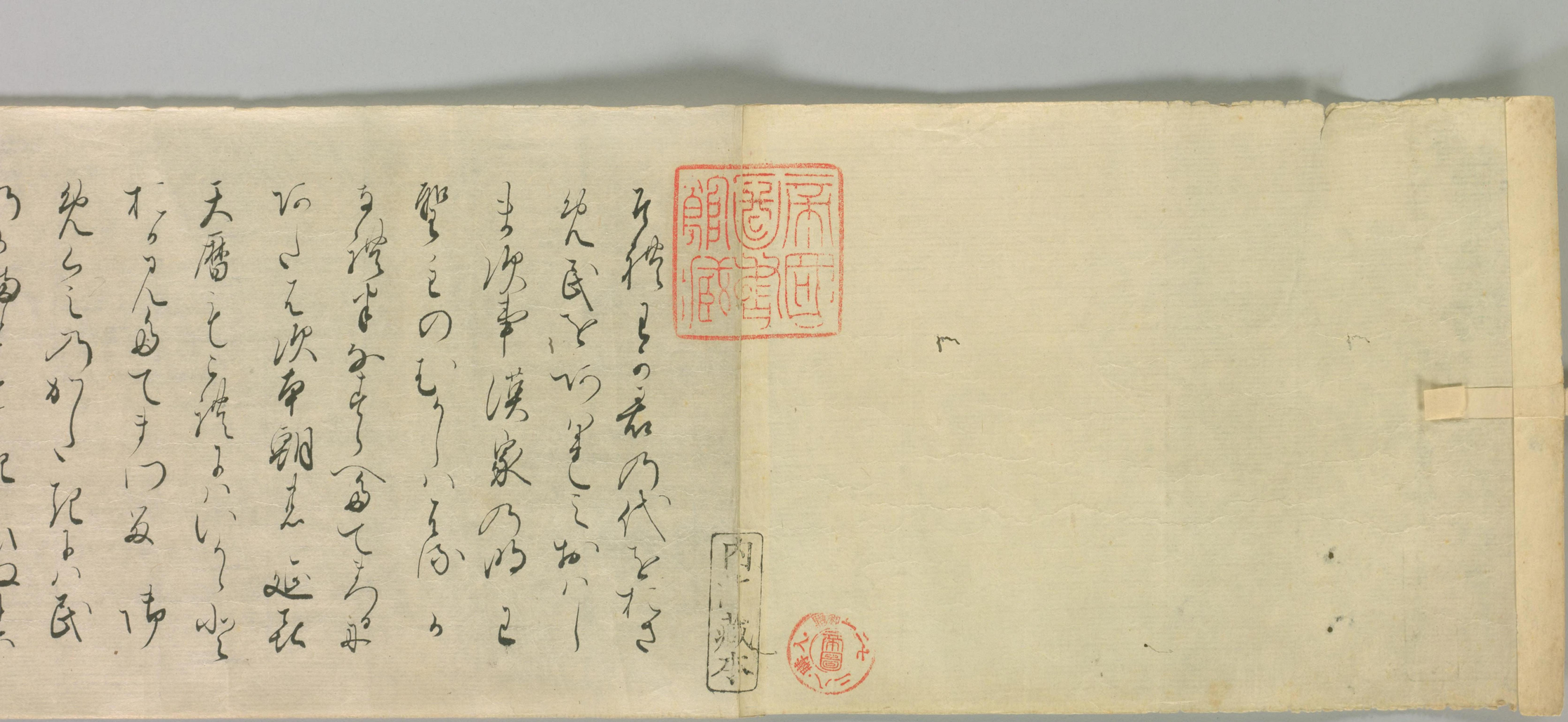
兼載法師法藏本

土佐山元元

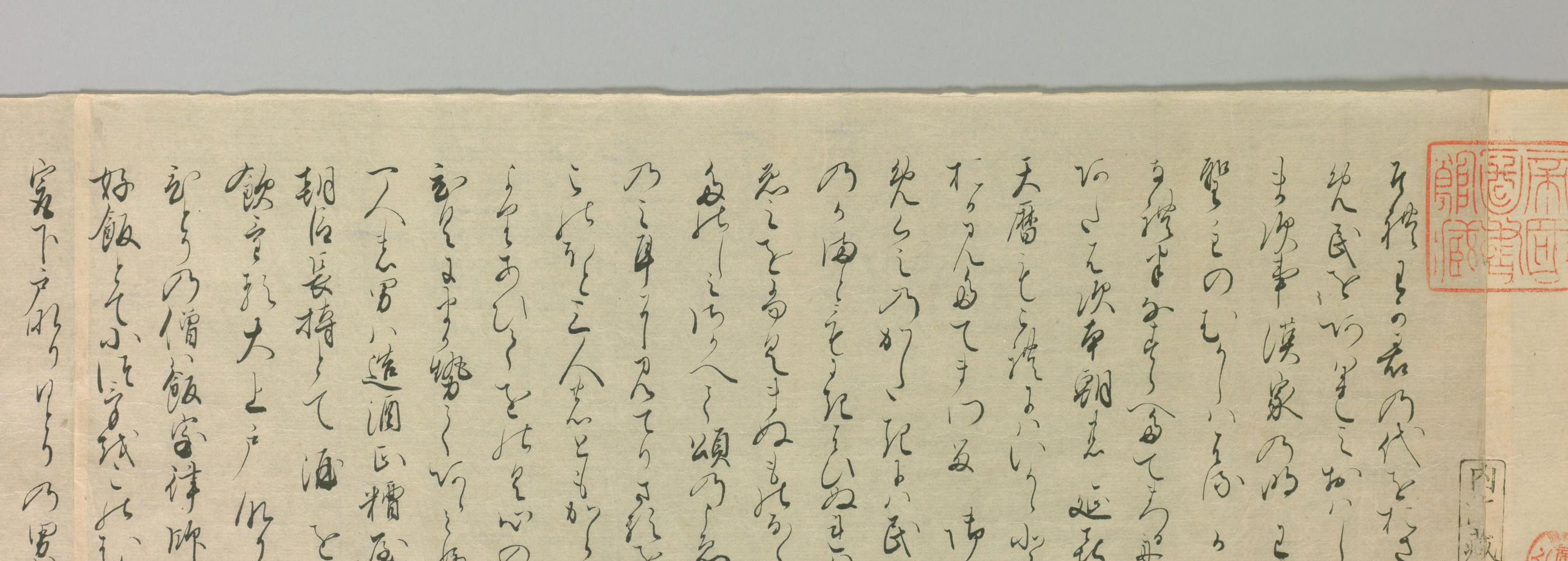
住吉内記

別 7
565

国立国会図書館　タイトル『酒飯論』 請求記号 本別7-565

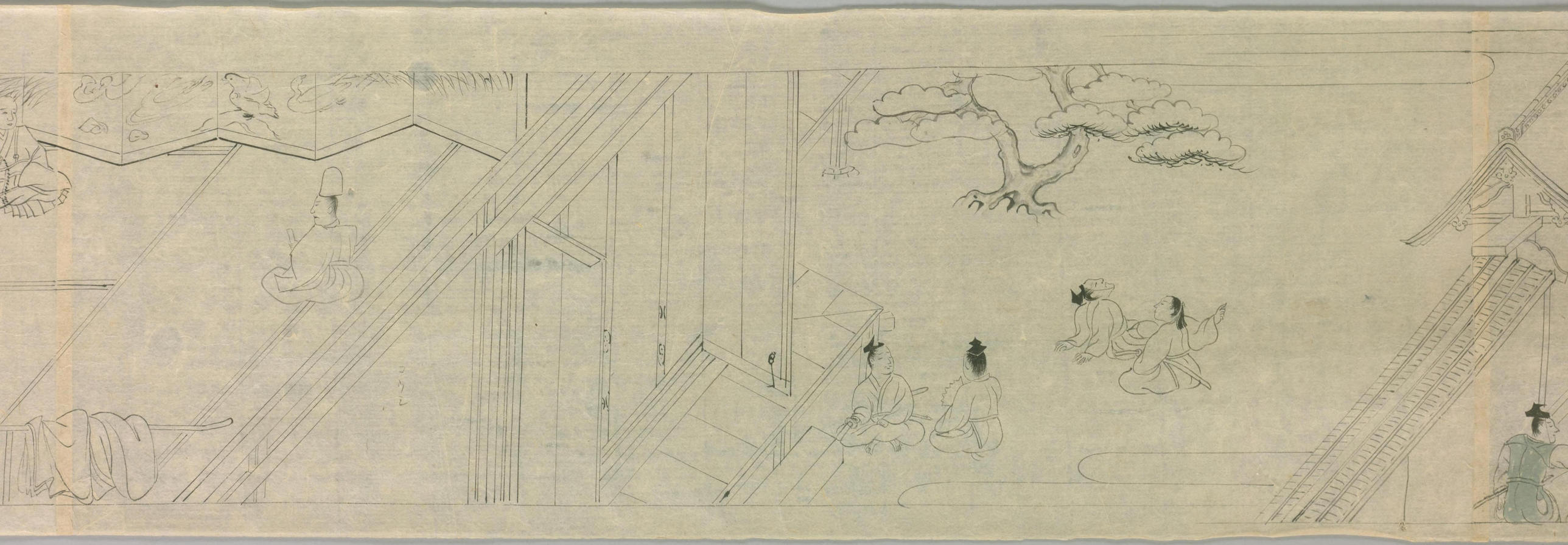


国立国会図書館　タイトル『酒飯論』　請求記号 本別7-565

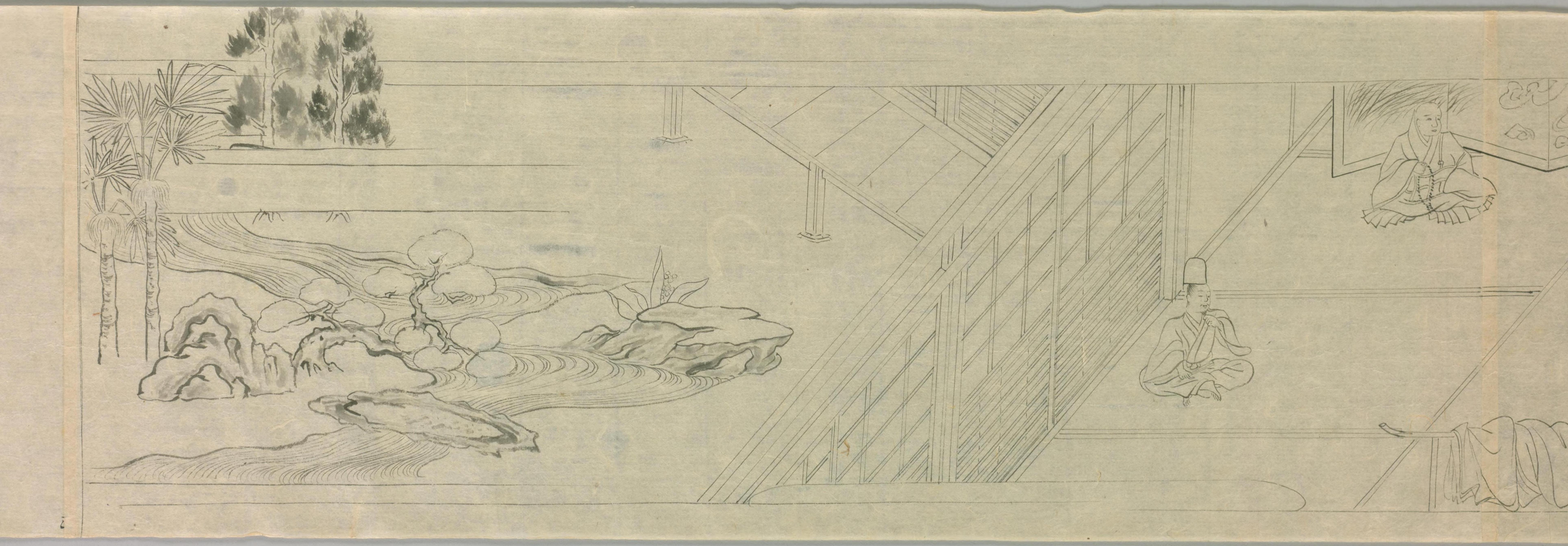


国立国会図書館　タイトル『酒飯論』　請求記号　本別7-565

国立国会図書館　　タイトル『酒飯論』　請求記号 本別7-565



国立国会図書館　　タイトル『酒飯論』　請求記号 本別7-565

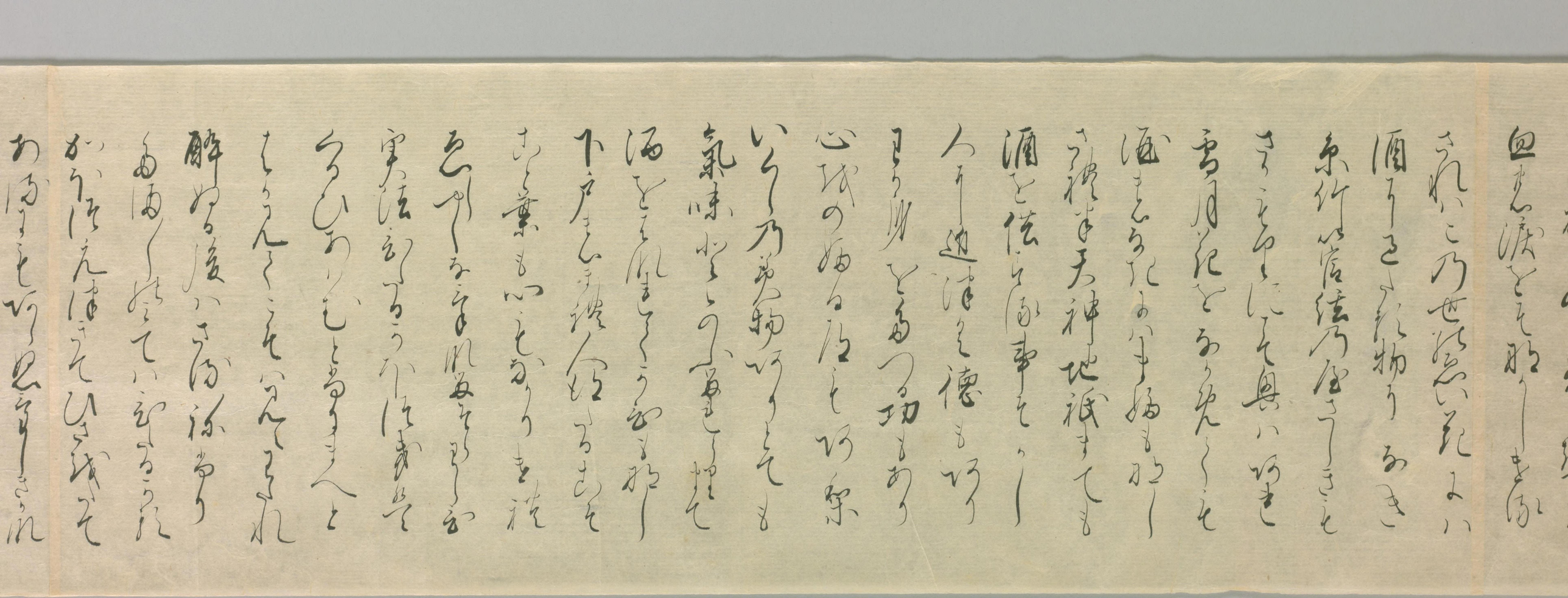


国立国会図書館　タイトル『酒飯論』　請求記号 本別7-565

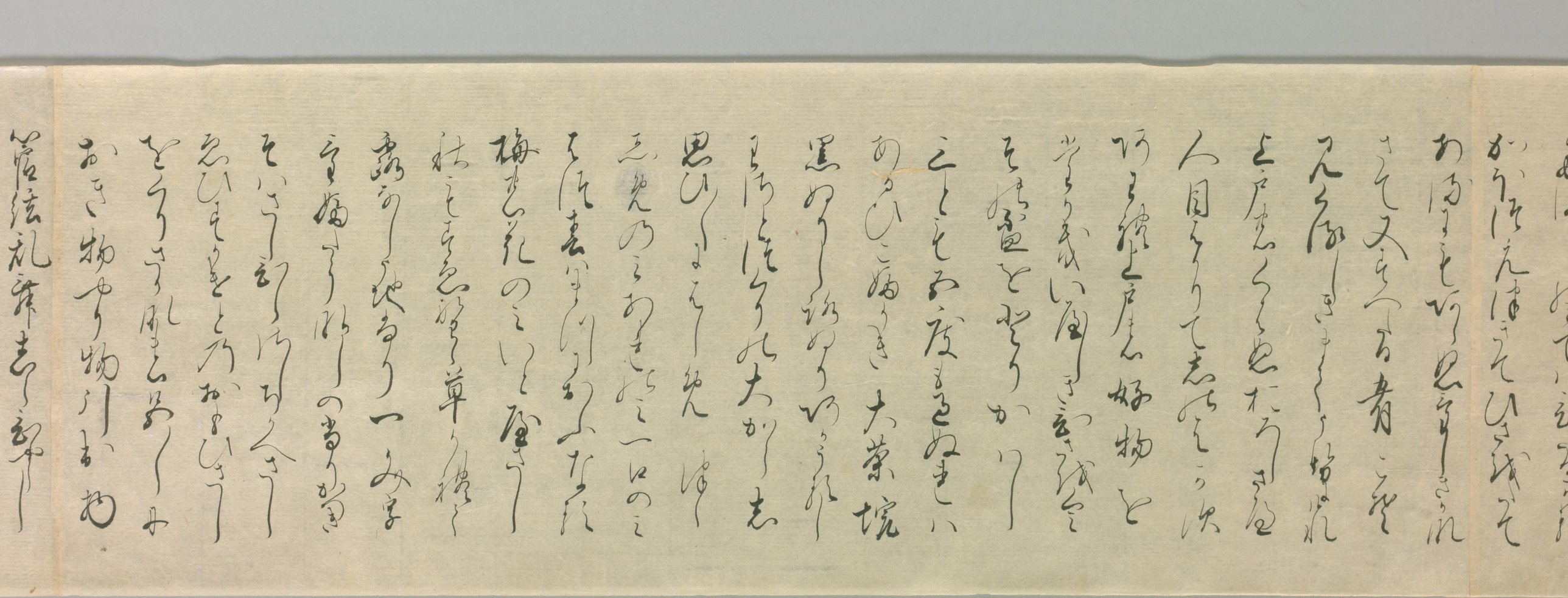
造酒正長持半撰

酒乃いろしき事ハこれ
昔もいふまでもなり忠
酒をこのんくのむ人を
世ゝハ對戸も同しくき
後ハ世まてもかゝらぬ事
なれとも地の利人もあり
所をあひ乗楽天も
酒を乃先と詩に酒の
別をあり乃詩も序にも
三百盃と先ハ先字ハ
桃李乃花ハ所りに是
天さへ忘る所ハきしき所り
花乃下にて先ハ字ハ
樽ハ前に居乃こ勢
林間に酒を行ふて
紅葉をとるもいとやさし
みて勢乃長ハ先にハ
屋蘇白散をのこぬまハ
よろしき壽命を嫌こり
一里乃中小ハやまひなし
そ為く酒をハ百薬の
長とて醫師に訪ひめまる

国立国会図書館　タイトル『酒飯論』　請求記号 本別7-565

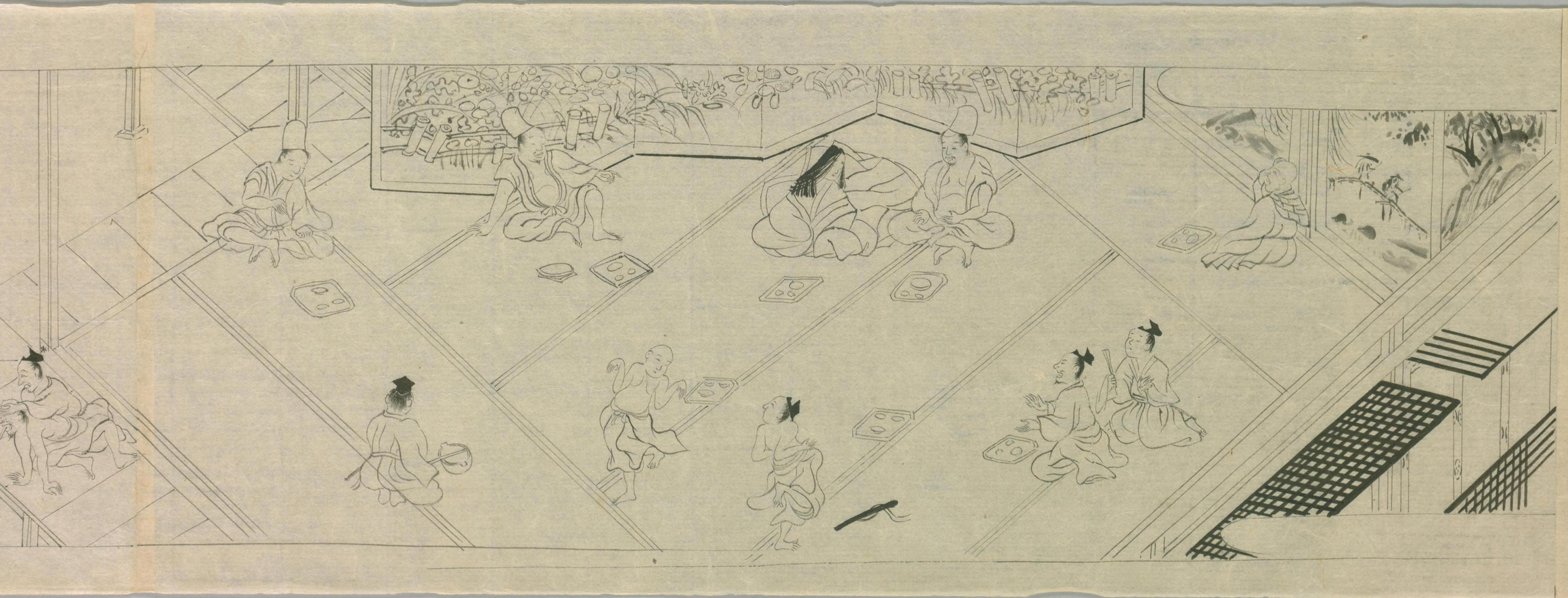


国立国会図書館　タイトル『酒飯論』　請求記号 本別7-565



国立国会図書館　タイトル『酒飯論』　請求記号 本別7-565

国立国会図書館　タイトル『酒飯論』　請求記号　本別7-565



国立国会図書館　　タイトル『酒飯論』　請求記号　本別7-565

国立国会図書館　　タイトル『酒飯論』　請求記号　本別7-565

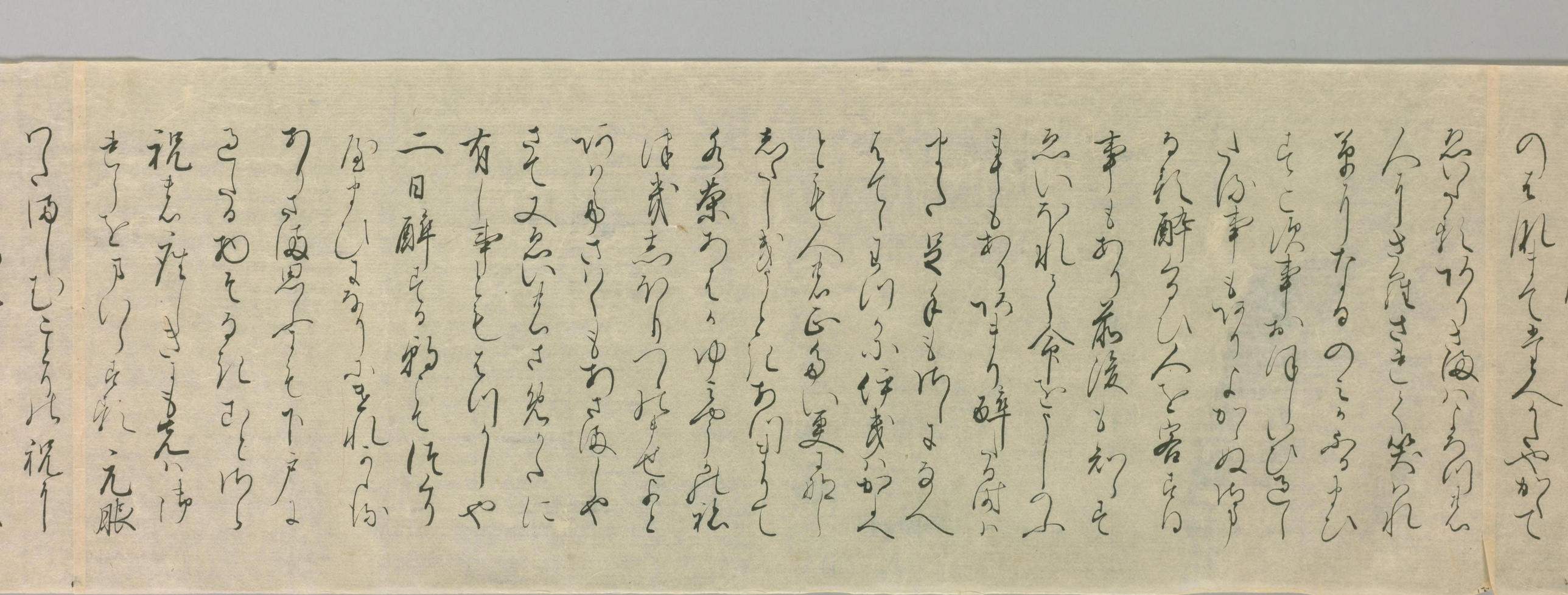
飯室律師好飯中撰

上戸清徳を行ひて下
戸を主論しとて稽とも
飲と乃まゐとくゝ爲まハ
上戸まゐ已ゝ楚津とりぬる
中間ハ仏の見れりとも六戒
乃中にハ不沽酒戒さけをハ
ゝ落そのこゝもせをいつまの
内外乃典籍ゝ酒をの免
とハおしへ給漢の高祖ハ
盃をそてゝを項羽よそから
まゐ殿討まゐ乃ゝ記し行り
さ酒ハ酒まゐ間ゝ乃ゆへそ
りし長安倡家まゐむそ免
とそ琵琶洗記きよそも
忌ほ酒ゆへ身をハ捨
そそし源氏まゐ事酒よ
なゝさ稽し其見ふりとを
弱ぬまハお酒乃月飯の
かんの君忘いゆちゝ逢
う免し藤右納言の助乃
方正月一日清引お物
酔くるひゝ是とりいてし

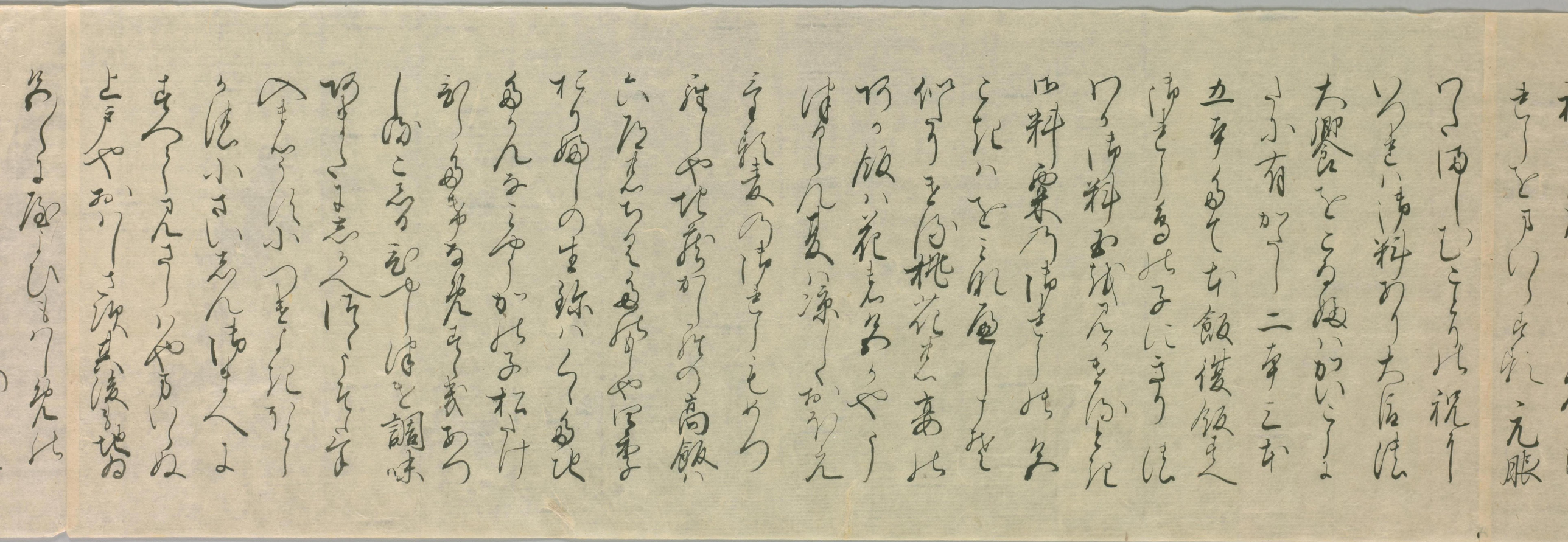
方正月一日法門は物
酔ならひをとりいてし
人を以やすき方便よまさ
むかし酒をおゐて好し哉
さても上戸ましませとハ
なにても下戸ぬ物出よ
おかれ乃米穀なきかり
酒に造るて法以ての礼
酒やさしてハ心そかくハ
さきなりのこそ後ハ又酒
直さをむ盈おりしよ服立
いふれもいれれ無義まて
なりそその法しは是
り殺もさぬまハいかに紀なけ
なるあり礼さハ妻子法
まる礼よ正さりにそ語
酔なれ時そ又家乃内よハ
いつもたえすりんあひくハ
むかりんいて祝事なりまつ
祝まりさし聞ゆしうかや
盛やすく慎中にすて乱なるほ
ほまいハ波をりたそ眼り
き祝遊行上戸乃なせと
してはぬかしいつきつ
おりぬかなは座よ落て
手足も乱れ見足まよく

国立国会図書館　タイトル『酒飯論』 請求記号 本別7-565

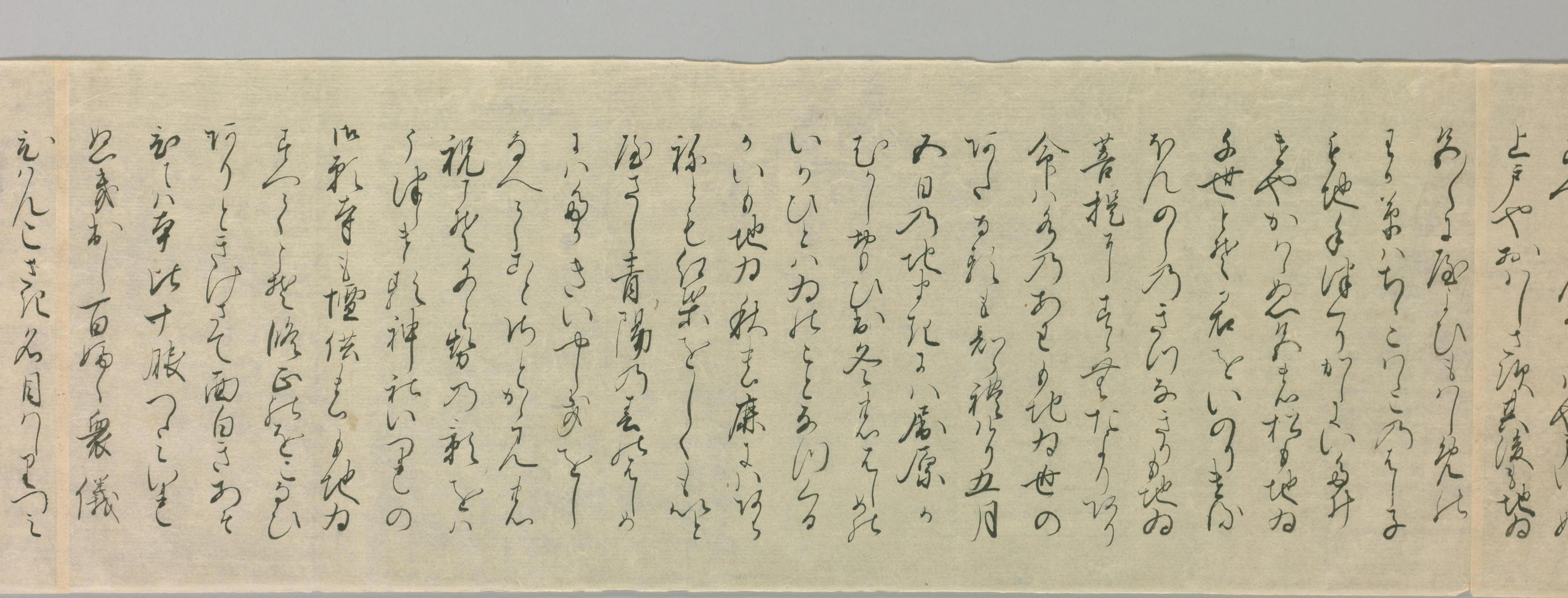
国立国会図書館　タイトル『酒飯論』　請求記号 本別7-565



国立国会図書館　タイトル『酒飯論』　請求記号　本別7-565

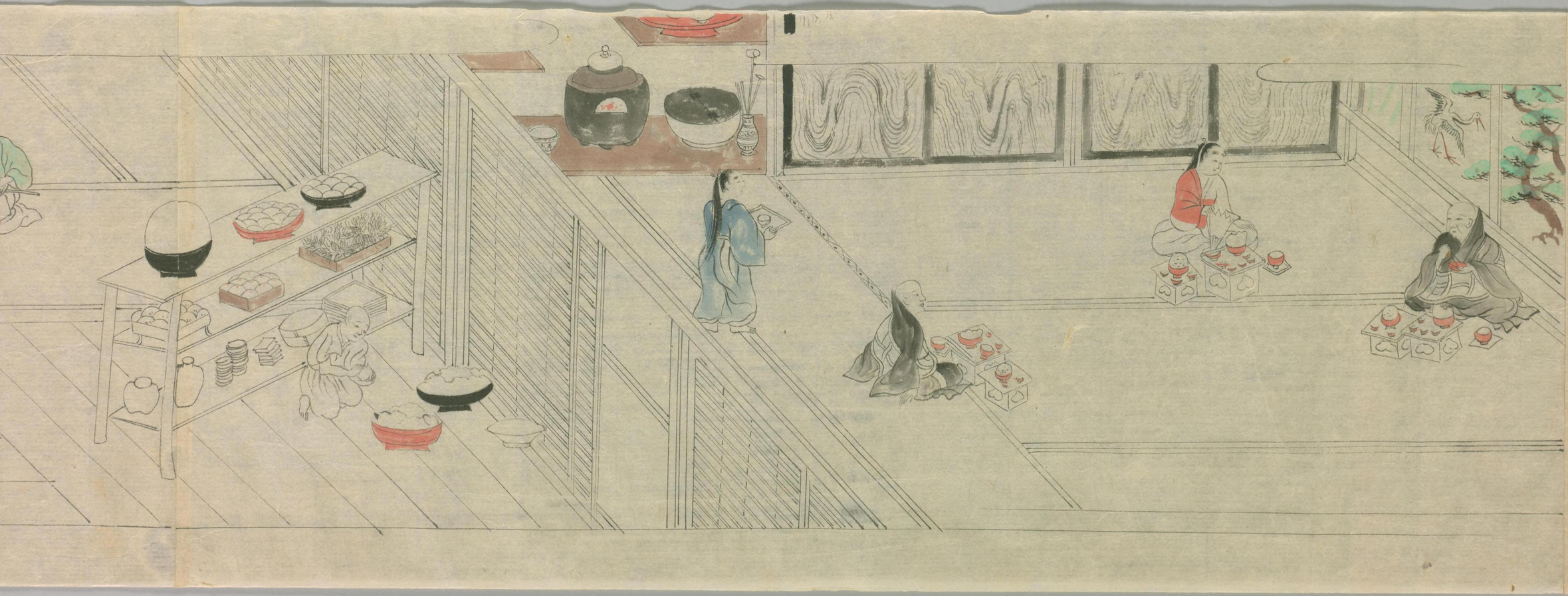


国立国会図書館　タイトル『酒飯論』　請求記号　本別7-565

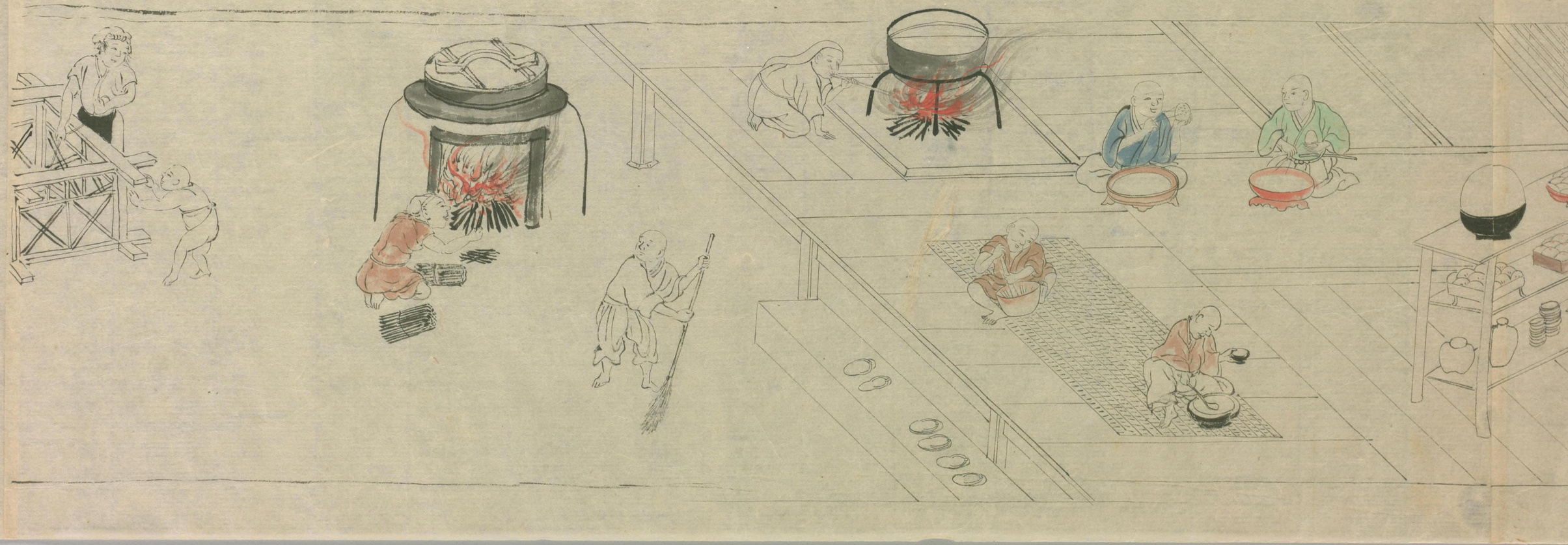


国立国会図書館　タイトル『酒飯論』　請求記号 本別7-565

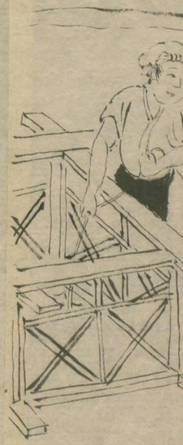
国立国会図書館　タイトル『酒飯論』　請求記号 本別7-565



国立国会図書館　　タイトル『酒飯論』　請求記号　本別7-565



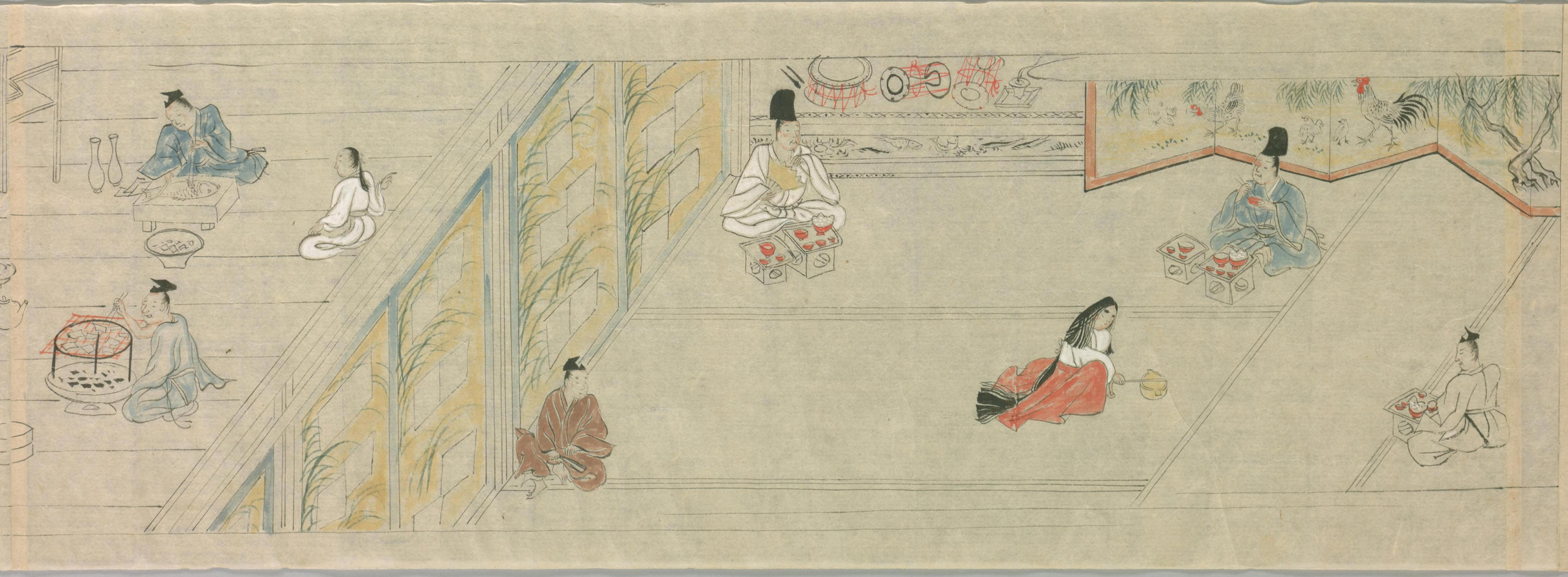
国立国会図書館　タイトル『酒飯論』　請求記号 本別7-565



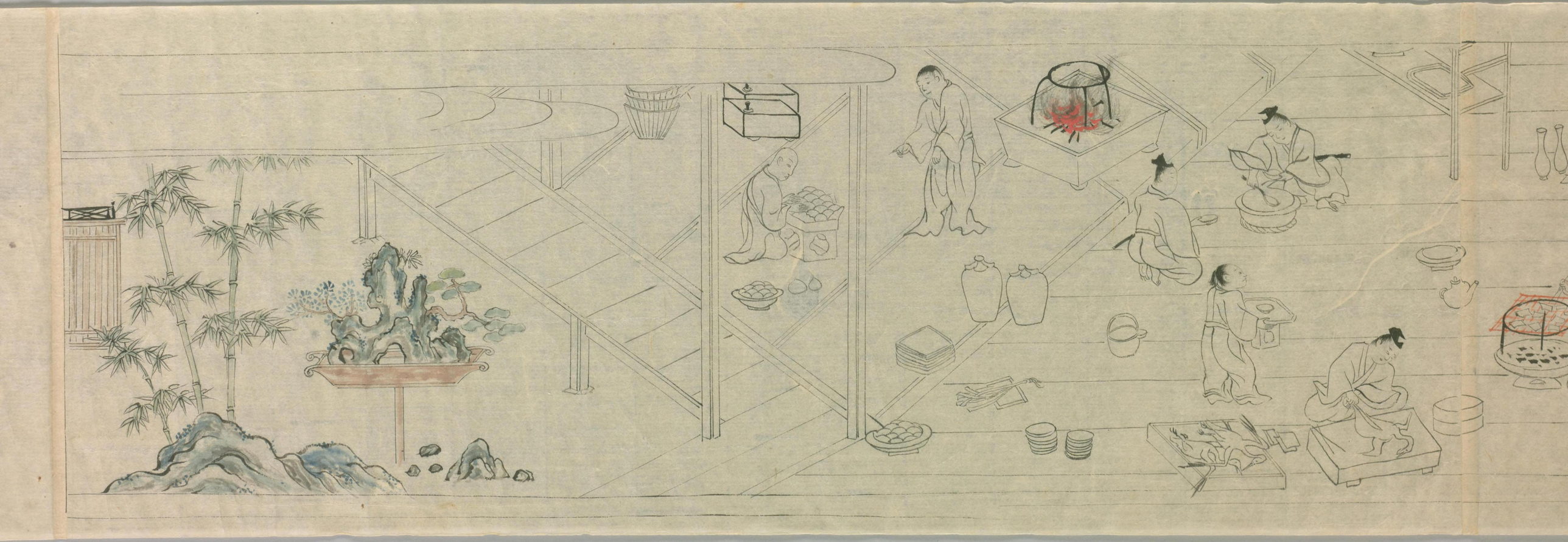
国立国会図書館　タイトル『酒飯論』　請求記号 本別7-565

五智の如来ハ中まくさ
之諦即足法觀心を
中道觀ニ然ルニ見ル者
さ禮を上戸も下戸も高
中道を分きぬ物なれハ
酒とみぼるを忘いてまり
飯と思ふを空なきたる
其の身ハ分禮をしらるし
心もあかよハかとけ相し
自性法身ハ行しハ礼を
即身成仏しかハ事
南無之寶く
世の中にまむ
仲成かん中ハ
中道ま理を
さぬりぬる
う那

国立国会図書館　タイトル『酒飯論』　請求記号 本別7-565



国立国会図書館　　タイトル『酒飯論』　請求記号　本別7-565



国立国会図書館　　タイトル『酒飯論』　請求記号　本別7-565

右上戸下戸巻物々繪
土佐左近將監光元真筆
無異論者也仍證之而已
貞享元年
孟夏上旬　土佐光昭

繪　光元筆
詞　兼載筆
文化四丁卯年三月　廣行
箱書付兼又

国立国会図書館　タイトル『酒飯論』　請求記号　本別7-565